

現代世界の法・社会・文化

罪と罰(例：死刑、少年犯罪)、裁判員裁判、ジェンダー(例：夫婦別姓、同姓婚)、生殖補助医療(例：クローン人間、代理母)、マイノリティ(例：アイヌ)などに関するトピックを手がかりに、法・社会・文化の多様性を探ります。

法にも歴史があるの？

現在の私たちが使っている「法」は、150年ほど前にヨーロッパから導入したものが基本になっています。ですから、それ以前の「法」は、今と少し考え方が違いました。どのように異なっていて、そしてどう似た部分があるのか、考えていきます。

消費税法の仕組み～輸出入と電子商取引～

「消費税」とはどのような租税かを説明し、インボイス方式の仕組みと消費税の問題点を考えます。

タックス・ヘイブンは何か？

世界には税金のない国、税率を極端に低くして外国の企業を誘致しようという国があります。なぜそのようなことがおこるのか、各国政府はそれにどう対抗するのかを学びます。

地方税と地方自治 -「ふるさと納税」と宿泊税・犬税導入を考える

地方税について学び、地方公共団体と国との間の関係を税財政の観点から考えます。「宿泊税」や「犬税」など、独自の地方税導入の検討並びに「ふるさと納税」について考えます。

相続税とはどんな税金か

「相続」とはどのような制度か、相続税とはどのような税金か、なぜ課税されるのかを学びます。

犯罪と法について考えてみよう！

1年間に起きている犯罪数、刑務所に収容される人員、検挙率などについて、統計・資料を用いて説明し、最後に、犯罪と刑罰に関する法律である「刑法」上の諸問題について、皆さんに「考えて」もらい、法学部での学びを体験してもらいます。

妻が夫をちゃんと監督していなかったから事故は起こったのだ! (?)

認知症の男性が線路に立ち入り列車と衝突して死亡しました。当時、家族がちょっと目を離した隙に男性が一人で外出し、事故が起こったのです。鉄道会社は振替輸送を行い、720万円の費用がかかりました。さて、この720万円の損害は誰が負担すべきでしょうか？

とっても身近な知的財産権 -携帯電話、アニメ、音楽から-



携帯電話、パソコン、アニメ、音楽、小説、ゲームソフトから医薬品、自動車部品に至るまで、実のところ、私たちの日常生活は、知的財産権の保護なくしては成り立ちません。身近な題材を事例にとって、なぜ知的財産権の保護が重要なのかについて一緒に考えてみましょう。

アメリカの多文化社会



グローバル化が進んでいる現在、国境を越えてさまざまな理由で人が移動しています。そうした移動する人々によって2世紀以上前に国が作られたアメリカで、今どのように人々の間の「違い」が受け入れられているのかについて考えてみましょう。

MDGsからSDGsへ



SDGsのロゴをよく目にしますが、実はSDGsの前にもう一つの開発目標が設定されていました。それは途上国の課題に焦点を絞ったMDGsというものです。この二つの開発目標の関係を通して、国際社会の課題について一緒に考えてみましょう。

アメリカの大統領選挙



アメリカでは4年に一度大統領選挙が行われます。前回の2020年選挙ではトランプ前大統領が自らの敗北を認めず、大きな混乱を招きました。民主国家の手本を自認してきたアメリカが、どのようにして公正な選挙を実施するのか、リアルタイムで観察してみましょう。

明治の選挙

日本史

明治期の日本の人々が初めて、欧米由来の選挙という制度にどのように向き合ったのかを検討することを通じて、これから新たに選挙権を得る高校生の皆さんに、どのように選挙に参加すればよいのか考えてもらう材料を提供します。

ヨーロッパ統合史-多面的視点を養おう

ヨーロッパ統合はなぜ第二次世界大戦後に始まったのでしょうか。また、その後のEC/EUの発展をどのように理解すればよいのでしょうか。本講義ではヨーロッパ統合の歴史を多面的な視点から分析します。また、高校と大学の授業の違いについても説明します。

(9月～3月出講不可)